

徳島市食育推進計画（第４期）（素案）に対する
パブリックコメント手続の意見取扱結果

意見募集期間 : 令和７年１２月２５日から令和８年１月２３日まで

意見提出者数 : ４人

提出意見数 : ４件

計画（素案）の修正 : 提出いただいたご意見に対する市の考え方は別紙のとおりであり、今回ご意見に基づく修正はありません。いただきましたご意見につきましては、本計画を推進していく上での参考とさせていただきます。

なお別途、口腔機能の保持増進にかかる取組の充実を図るため、「第４章 施策の展開」の２０ページ「(5) 歯・口腔保健活動の推進に向けた取組」に妊娠期及び災害時における口腔ケアへの取組を追加しております。

提出された意見の要旨と市の考え方

注：いただいたご意見は、市において趣旨を損なわない範囲で要約や、個人が特定される記述を省略している場合があります。

No.	意見の要旨	市の考え方
1	<p>医食同源と言われるように食育を推進する上で安全が第一であり、食の安全性に関する知識や選択能力を身に付ける普及を早急に進めてほしい。どう判断すれば安全なものを手に入れられるのか教えて頂きたい。</p> <p>給食などは有機食品にするのが望ましいと思う。</p>	<p>食に関する知識については、市民一人ひとりが判断できる能力を身に付けられるよう、基本目標「(9)食に関する正しい知識を習得し、判断する力を身に付けましょう。」として計画(素案)に盛り込んでいます。</p> <p>学校給食の食材については、品質・鮮度等を確認しながら、安全かつ安心できるものを選択しているところであり、こうした取組は、今後も継続してまいります。</p>
2	<p>給食費の補助は嬉しいですが、安くなったから、タダだからと質を落とさず、給食の質を1番大事にしてほしいです。</p> <p>健康に生きるためにまずは食べることであり、自分を大切にすることにもつながります。子どもたちのことを大切にするために何が出来るのか大人がもっと現実的に考える必要があると思います。</p>	<p>学校給食の献立は、これまでどおり質を落とすことのないよう、適切な栄養バランスや量、食品の組み合わせ等を考慮して作成してまいります。</p> <p>今後も、こどもたちが生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むことができるよう努めてまいります。</p>
3	<p>給食の内容の充実と地産地消を意識して徳島県産のもので作ることを意識してほしい。外部業者に委託せず、災害時にも使えることを前提に給食センターを創設していただきたい。</p>	<p>本市の学校給食は、地産地消を推進しており日頃から地元産の食材を優先的に活用しています。</p> <p>今後も、安全安心と内容充実の両立を図れるよう取り組んでいきます。</p> <p>また、給食センターについては、今後、学校給食のあり方等について検討を行う際に、選択肢の一つとして調査研究いたします。</p>
4	<p>“幼稚園に給食を”</p> <p>他自治体では幼稚園に給食が導入されている事例があります。</p> <p>徳島市で出産後も正規雇用で仕事を続けるには、義父母の手助けが必要でした。働く女性が子育てしやすい施策を希望します。</p>	<p>市立幼稚園は今後、認定こども園へ再編する方針であり、現状において施設整備を伴う給食の提供は困難です。給食の実施は、認定こども園化により実現することとしています。</p>